

研修員's VOICE

Vol. 14

世界各国からJICA沖縄にやって来た
研修員を紹介しています。



ジャマイカのソウルフードは「アキー&ソルトフィッシュ」赤い果実(アキー)と塩づけのタラ(ソルトフィッシュ)、野菜、卵などを炒めたものです



氏名: Mr. Omar BROWN (オマールさん)

国名: ジャマイカ 

コース名: 配電網整備 (A)

研修期間: 2018年5月9日 ~ 2018年6月15日

ジャマイカってどんな国ですか？

中米カリブ地域で3番目に大きな島で、カリブ諸国の中で英語を話す人口が一番多い国です。国のモットー「多くの人種から成る一つの国民」が表すように、約290万人の国民はアフリカ系、ムラート(白人と黒人の混血)、インド系、アジア系、白人と多人種で形成されています。

観光は主要産業で、ジャマイカ発祥と言われるオールインクルーシブ(食事やアクティビティ、ホテル内のサービス全ての経費が含まれる)リゾートは、皆さんにも是非訪れてほしいです。偉大なミュージシャン ポプ・マーリーや、世界的アスリート ウサイン・ボルトもジャマイカが誇る著名人です。



ジャマイカ観光の玄関口 モンテゴ・ベイ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



変電所の見学

どんな研修をしていますか？

ジャマイカでは、老朽化した発電機による発電量不足、長い配電線路による電力ロス、配電の自動化がごく一部のみ、配電設備のバックアップやメンテナンス不足等、様々な理由による停電を余儀なくされており、顧客はより低価格で安定した電力サービスを求めています。

今回、日本のベストプラクティスを学ぶため配電網整備の研修に参加していますが、私のような電力システムに直接携わるエンジニアにとって、毎日が素晴らしい学びの機会となっています。今後、信頼性の高いスマートグリッドを実現するために役立てていきたいと思っています。

印象に残っていることは何ですか？

東京や沖縄の離島などいろいろな場所を訪れましたが、糸満の平和祈念公園が一番印象に残っています。戦争を経験し痛みに耐え忍んだ人々が、73年後の現在、他の多くの国々の助けになっていることは、賞賛に値するものです。人々がいかに勤勉で、規律を守り、謙虚であるかに感心し、それが今日の日本の国際的な地位を築いたのだと確信しました。

日本での6週間の豊かな経験が、今後の私のキャリアや人生においてプラスの影響を与えてくれるものと感謝しています。



平和祈念公園内の平和の火

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、「誰一人取り残さない-No one will be left behind」を理念として、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針で、17のゴールが設定されています。